

●白馬会議運営委員会アドバイザーボード● 白馬会議の企画運営組織である「白馬会議運営委員会」の諮問機関として、下記のメンバーによる「白馬会議アドバイザーボード」が形成されています。(アイウエオ順)
 新将命(国際ビジネスブレイン社長) 荒井英彦(長野県信用保証協会会長) 池間誠(一橋大学名誉教授) 上田清司(埼玉県知事) 馬田啓一(杏林大学客員教授) 岡本恵也(熊本学園大学名誉教授) 小島明(政策研究大学院大学理事) 佐々木祥二(長野県議会議員) 田中素香(東北大学名誉教授) 玉置和宏(毎日新聞社特別顧問) 津守滋(東洋英和女学院大学名誉教授) 中條功(長野銀行頭取) 平尾勇(松本市商工観光部長) 水本正俊(長野県経営者協会専務理事) 武者陵司(武者リサーチ代表) 安室憲一(大阪商業大学大学院教授) 鷲尾友春(関西学院大学教授) 市川周(白馬会議運営委員会事務局代表)

【参加定員】100名(宿泊参加者が50名を超える場合、宿泊のみシェラリゾート白馬に隣接するホテルとなります。)

【参加費用】1名3万円(1泊4食の滞在費及び会議運営費、資料代等を含む。日帰り等参加形態により費用額の調整あり。)

【参加申込方法】「白馬会議参加希望」と明示、氏名・所属及び連絡先の住所、TEL&FAX番号を記し、メール：ichi@gb3.so-net.ne.jp または Fax：042-373-1797までお送り下さい。折り返し、申込書及び参加費請求書をお送りします。

【申込締切】定員になり次第、締め切ります。

【問い合わせ】

〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘5-3-5-201 白馬会議運営委員会
 TEL：090-3694-5042 FAX：042-373-1797 E-mail：ichi@gb3.so-net.ne.jp



熱い討議の渦の中へ…



会議の後は古民家を移築したかけ流し露天ヒノキ風呂でゆったりと…

第8回 白馬会議 2015

信州白馬に生まれる
 「ダボス会議空間」
 へようこそ!

「西のダボス、東の白馬」……白馬会議は学会でも、財界セミナーでも、評論家やジャーナリストだけの集まりでもない。この会議の魅力は一人一人の知的な個人がそれぞれの生きざまやバックグラウンド、問題意識を持って国内外から集まり、白馬の大自然の中で心ゆくまで議論し合うところにある。
 (第1回白馬会議(2008年)開会宣言より)

統一テーマ

“戦後70年”後の日本を問う! —グローバル資本主義・安全保障・大震災—

“戦後70年”の今年、様々な視点、分野からの「歴史総括」が求められているが、より重要なのは、この70年を踏まえて日本人が、そして日本という民族、国家が次の時代をどう生きていくかということにある。そんな問題意識から今年の白馬会議では下記3つのセッションとディナースピーチを軸に徹底討議を展開します。

- 第1セッション 「グローバル資本主義と日本経済—「需要創造」か、それとも「格差拡大」か?」 武者陵司氏(武者リサーチ代表)
- 第2セッション 「岐路に立つ日本の安全保障—平和国家の理想と現実はどう向き合うか?」 渡部恒雄氏(東京財団上席研究員・政策研究部ディレクター)
- 第3セッション 「地震火山列島日本の命運—次の大震災にどう立ち向かうか?」 金田義行氏(名古屋大学減災連携研究センター特任教授)
- ディナースピーチ 「日本の政治を元気にする—ベンチャー起業家として、政治家として何を指すか?」 松田公太氏(参議院議員・「日本を元気にする会」代表)

開催期間 2015年11月14日(土)～15日(日)

開催会場 長野県白馬村「シェラリゾート白馬」

<http://hakuba.sierra.ne.jp/welcome.html>

【東京駅から約2時間半】長野新幹線で長野駅下車、白馬駅直行バス利用。

【名古屋駅から約3時間】松本駅で特急乗り継ぎ白馬駅下車。

主催 白馬会議運営委員会

協賛 長野銀行・武者リサーチ

後援 外務省・長野県経営者協会

“戦後70年”後の日本を問う!—グローバル資本主義・安全保障・大震災—

第1セッション 「グローバル資本主義と日本経済—「需要創造」か、それとも「格差拡大」か?」

【基調報告者】武者 陵司 氏 (武者リサーチ代表)

プロフィール●1973年横浜国立大学経済学部卒。大和証券・企業調査アナリスト、大和総研アメリカ・チーフアナリストを経て、ドイツ証券調査部長兼チーフストラテジストから同副会長へ、2009年(株)武者リサーチを設立。日本を代表する証券ストラテジスト。生き馬の目を抜く証券業界に身を置き、ち密なデータ分析と大胆な仮説提起を織り交ぜながら世界資本主義の行方を追い続けている。今年の白馬では、トマ・ピケティが『21世紀の資本』で描き出した格差社会の拡大の現実に真正面から挑戦、遊休資本と遊休労働をフルに活用する需要創造こそが、これからの日本経済運営の基本軸になることを説く。

第2セッション 「岐路に立つ日本の安全保障—平和国家の理想と現実はどう向き合うか?」

【基調報告者】渡部 恒雄 氏 (東京財団上席研究員・政策研究部ディレクター)

プロフィール●1988年東北大学歯学部卒。歯科医師となるが社会科学への情熱抑えがたく米国留学、ニュースクール大学政治学修士課程修了。戦略国際問題研究所(CSIS)、三井物産戦略研究所を経て現職へ。父恒三氏の現実政治を見つめ、ワシントンではバックスアメリカーナの国際政治学修行に体当たりして来た渡部氏。その感性と見識が集团的自衛権と日米安保の存在に揺れる日本人の葛藤に対して、「同盟における巻き込まれの恐怖と、見捨てられの恐怖というのは、何も現在の日本に限られた話ではない」と言い切る。白馬ではクールヘッドでウォームハートな「現実派」渡部氏の本音と志を語ってもらう。

第3セッション 「地震火山列島日本の命運—一次の大震災にどう立ち向かうか?」

【基調報告者】金田 義行 氏 (名古屋大学減災連携研究センター特任教授)

プロフィール●1979年東京大学地球物理学専攻修士課程修了。理学博士。石油公団、大林組を経て海洋研究開発機構(JAMSTEC)で南海トラフのリアルタイム観測やスーパーコンピューターを使った地震や津波のシミュレーション開発に取り組み。但し、地震の科学的予知には限界があり、迫りくる自然災害を抑え込めるという「防災」信仰はむなしく、人間に出来るのは自然災害の被害を軽減する「減災」への努力であり、その積み重ねの究極が「防災」につながるという信念を持つ。白馬では昨年4月より名古屋大学で取り組んでいる自然科学と社会科学をまたぐ「減災科学」の発想や手法について問題提起する。

ディナースピーチ 「日本の政治を元気にする—ベンチャー起業家として、政治家として何を指すか?」

【基調報告者】松田 公太 氏 (参議院議員・「日本を元気にする会」代表)

プロフィール●1990年筑波大学国際関係学類卒。三和銀行(現・三菱東京UFJ銀行)に入行するが96年に退社、米タリーズ社との1年以上に及ぶ交渉の末、日本での経営権を取得し、タリーズコーヒージャパンを設立。約3年で株式を上場し、300店舗を超える国内コーヒー店チェーンにまで育て上げる。2010年には「みんなの党」公認で東京都選挙区から参院選に出馬・当選するが、同党解党により2015年1月に新党「日本を元気にする会」を結党する。戦後70年にして誕生した「元氣会」の代表として、また、ベンチャー起業家でもあり続ける異色な政治家として、白馬ではこれからの日本の政治に問われるもの、その使命、役割、可能性につき熱く語ってもらう。

タイムテーブル

時間	プログラム	進行	
11月14日(土)	12:00	オープニングランチ	ホテルに着きましたら手荷物を持ったまま2階ホールのランチ会場に直行し、お好きなテーブルに着席ください。即、ランチ開始です。サンドイッチを頬張りながら30秒程度の自己紹介をお願いします。
	13:00	第1セッション 「グローバル資本主義と日本経済」	今年の白馬会議の最初のセッションが始まります。先ず、武者さんの基調報告が50分。その後、5分ぐらいの簡単なコメント(感想)を頂き、残り15分は会場と武者さんとのQ&Aとなります。質問はくれぐれも簡潔、手短かにして頂き、様々な視点からの質問が飛び交うのを期待しています。
	14:15	第2セッション 「岐路に立つ日本の安全保障」	第1セッション同様の段取りで第2セッションが渡部さんの基調報告で始まります。会場には熱いコーヒーや紅茶がセットされますので自由にお飲みいただきながら議論を続けてください。
	15:30	チェックイン・タイム	2階ホールから階段を下りた辺りに受付デスクが設置されていますので、名ふだと鍵をもらってチェックイン、お部屋に荷物を置いて、2階ホールへお戻りください。第3セッションが始まります。
	15:50	第3セッション 「地震火山列島日本の命運」	3つ目のセッションが金田さんの基調報告で始まります。頭を少々使わずに方ももうひと頑張り。このセッションの後にはチェロコンサート、カクテルレセプションが待っています。
	17:05	チェロコンサート	白馬会議8回目にして芸術的リラックスタイムが実現しました。信州指折りのアーティスト原香恋さんの素晴らしいチェロ演奏をお楽しみください。午後一杯展開された討議セッションの緊張・興奮を程よくしずめ、まだまだ続く白馬の夜の知的出会いに備えてください。
	18:00	カクテルレセプション	セッション会場はディナーの準備に入りますので、階下のレセプションホールに移動、軽いおつまみでワイン、ビールを楽しみながらの歓談タイムとなります。
	18:45	テーブルディナー	信州が誇る国際的な名シェフ、ピエール金澤さんによる渾身の白馬ディナーが始まります。立食ではありません。じっくり座って天下の美味とお酒、そしてテーブルのお仲間との歓談をエンジョイください。
	20:30	ディナースピーチ 「日本の政治を革新する」	デザート・コーヒータイムが始まる頃、松田さんのディナースピーチ開始です。40分位お話し頂いた後、会場よりどしどし質問して頂きます。
	21:30	自由&交流タイム	さあこれで1日目の公式スケジュールは終了です。ホテル自慢の古民家かけ流し温泉にゆっくりつかるもよし。レセプションホールや結構広めの自室(ツインのシングル使用)で語らうもよし。本日の討議をレビューし明日の議論に備えるもよしです。※テーブルの上に明日帰路の時刻表を置いときます。
11月15日(日)	7:00	朝食(この時間帯でご自由に)	ホテル自慢の朝食バイキングも和洋超豪華。流れる滝を望むレストランで白馬の秋の味覚をお楽しみください。ウエークアップスピーチには時間厳守でお集まり願います。
	8:15	ウエークアップスピーチ	参加者の皆様の中から3名の方をノミネートさせて頂き、「目が覚めるような(?)とおきの話」を、それぞれ15分ぐらいお話し頂きます。
	9:00	クロステーマセッション 「“戦後70年”後の日本を問う」	さあ今年の白馬会議の総括セッションです。3名の基調報告者とディナースピーカーがお互いのテーマをクロスさせて忌憚のない議論をぶつけ合い、会場からの質問・意見も巻き込んでいきます。参加者一人一人が「戦後70年”後の日本を問う!”への自己の思いと覚悟を確かめていくクライマックスです。
	12:00	クロージングランチ	あっという間の白馬タイムがエンディングを迎えます。知力・気力充実。ピエール金澤さんはなむけのランチで腹ごしらえをし「明日からの現場」へCOMEBACKです。アンケート記入お忘れなく!
	13:00	解散	部屋のチェックアウトはランチのあとでオーケーです。帰路の時刻表を確かめ、お忘れ物にご注意。